

## ● 世界の主な火山活動

平成 24 年（2012 年）12 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。

### コパウエ（チリとアルゼンチンの国境）（図中 A）

22 日に噴火活動が始まり、衛星画像から噴煙が火口縁上 1～1.5 km まで上昇し、南東へ 400 km 流れた。上空からの観測で、2000 年に発生した噴火と同じ火口から発生していることが確認された。その後、ウェブカメラで火映が観測された。半径 15 km 以内と流域の住人に噴火活動の更なる活発化の可能性と火山泥流に対する警戒が呼びかけられた。

23 日にはストロンボリ式噴火に伴い赤熱した岩塊が噴出し、有色噴煙が高さ 1 km まで上昇し南東に流れた。24 日以降も噴火活動は継続し、27 日、28 日に爆発的噴火が観測された。地震活動は 24 日以降徐々に低下し、25 日には火山性微動も観測されなくなった。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館の GVP（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）

